

		成果と課題	令和4年度の方向性
実務部会	1 評価部会 医療と介護のありたい姿の評価指標検討部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ありたい姿の進捗を確認する指標を絞り込むことができた。 ・独自のアンケートを開始し、数値収集につなげることができた。 ・目標値設定を行うことができた。 ・部会で案を作成し協議会に提案する流れができた。 ・他課と連携してアンケートを開始することができた。 ・ケアマネ等、当事者が目標値を設定することができた。 ・他課との更なる連携については今後の課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して指標の分類、進捗管理、分析等を行う。
	2 啓発講座部会 在宅医療介護啓発講座の企画・実施・評価部会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため集合型は困難なことから、オンライン講座の動画配信を開始した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に警戒をしながら在宅医療介護啓発講座の開催を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染状況を考慮しての啓発講座を開催する。 ・各地域に出向いた講座の開催や人が集まる場所でオンライン講座の動画を活用する。 ・今後の講座の内容は、市民と専門職双方のやりとりができるような方法が望ましい。例えば、介護を担う人、受ける人、医療従事者、介護職、それぞれの立場から在宅医療の事例について話をするなども良いのではないかと。
	3 研修部会 医療・介護専門職への研修の企画・実施・評価部会	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者アンケート結果では満足度も高く、研修内容としては適切であったと考える。 ・参加者が固定されている傾向がある。 	研修テーマ（案） ・研修会の対象職種を変えてみるのはいかがでしょうか（ヘルパーを対象にゾーニングの研修、入職後〇年目など） ・薬剤師とケアマネジャーの意見交換会 ・ICTを使った情報連携に関する意見交換会（FAXがメール・紙媒体がPDFに代わることで記録が少なくなる、記録の効率化を図る、情報量の捌き方、個人情報の面等）
	4 意見交換部会 専門職向け意見交換会の企画・実施・評価部会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大の時期でも、専門職間の課題を協議、共有することができた。 ・医療・介護専門職への企画・実施・評価部会と内容が重なる部分がある。 ・意見交換や研修会に参加する、医療介護専門職が固定化されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修部会と統合する。 ・研修内容は、連携を主とする内容とする。
	5 情報発信部会 情報集約・情報発信検討部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを改修し、市民向けと専門職向けの内容に分け整理を図った。 ・ICTを使った情報連携システムについての実態把握調査を行い、ある程度の専門職の意見を確認することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを更に見やすく更新していく。 ・SNSを活用した、情報提供を検討していく。 ・ICTを使った情報連携システムについての調査結果を基に、今後の方向性を更に検討をする。
	6 活用普及部会 お薬手帳、エチケットと退院前情報共有チェックリストの活用普及啓発部会	<ul style="list-style-type: none"> ・連携ツールとお薬手帳の活用実態がある程度把握できた。 ・連携タイムと病院のケアマネ等専門職窓口一覧は、活用が進んできている。 ・各ツールがミニ知識にまとめられて見やすくなった。 ・ツールはできたが、普及を図ることが今後の課題である。各職種や立場（調剤薬局と院内薬局、退院調整看護師と病棟看護師等）での意見を聞きながら、使い勝手よく改良していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や介護保険認定者等に「わたしの大切な情報カード」を配布し、緊急時や連携ツールとしての活用を推進させる。 ・各ツールを普及する方法を、再度検討していく。